

2018 年度事業報告

特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブとて

事業の 2 本の柱のひとつである居場所の運営について生活クラブと協議を続けた結果、今年度より受託費を得ることができました。まだまだ生活クラブ組合員に居場所の価値を理解してもらうことが少しずつ進み、地域の方には、広く受け入れてもらえるようになりました。

事業のもう一つの柱のとての独自事業においては、データベースソフトを導入し、事務作業の効率化、省力化を目指す第一歩となりました。

生活さぼりと事業は、利用者のくらしの変化に合わせてサービスの内容を対応させることができました。

移動サービスについては、ほぼ毎日福祉車両が活躍し、事故なく運行しています。

地域福祉ネットワーク作りでは、常設の施設を持つ強みが発揮され、様々なニーズに柔軟に対応することができました。

「きたもとこども食堂」を運営することで見えてきた課題を、私たちと地域住民が解決に向かうお手伝いをするために、こどもの居場所づくりの検討に着手しました。

(1) 地域コミュニティ事業

① 生活クラブ生協福祉事業運営 (委託事業)

実績：サロン利用人数 1,097 人 1,816 食 親子のひろば 210 組、一時託児 59.5 時間 教室参加者 973 組 利用者総数 3,461 人)

計画：サロン利用人数 1,300 人 2,200 食 親子のひろば 350 組、一時託児 50 時間 教室参加者 1,200 組 利用者総数 3,300 人)

- ・生活クラブの事業であるみんなの居場所「わ〜くわっく北本」について運営主体の生活クラブと協議を重ねてとてによる事業運営を継続しました。
- ・みんなの居酒屋（土曜夜間開業）、こどもの貧困学習会など、今後の居場所の機能拡大を目指し、イベントの開催を行いました。
- ・ランチの内容変更や、喫茶新メニュー開発など新規の取り組みができました。
- ・月平均 288.4 名の利用があり、目標を上回る利用がありました。
- ・生活クラブ理事会での事例報告、生活クラブホームページ上のわ〜くわっくだよりなどを利用し、居場所の価値の発信を行いました。
- ・居場所事業の運営者として、生活クラブ生協の組合員活動である寄り添いサポーター（相談の担い手）が参加する T ハウス連絡会に出席しました。
- ・地域とのネットワークを強めるために、北本市主催のイベントに参加しました。
- ・「こどもの貧困って何？〜わたしたちのできること〜」と題して学習会（2/26）を開催しました。

② 居場所関連事業

- ・ 継続的に利用される棚貸しが好評です。
- ・ スタッフによる手作り品・リサイクル品の販売種類が増え、来所者に楽しみを提供することができました。
- ・ もう一つの居場所事業としてわ〜くわっく北本とは違った地域でのつながり作りの場として、「ひろこさん家」をスタートさせました。

③ きたもとこども食堂運営 (詳細報告 p.15 参照)

利用人数 622人 開催回数 12回

- ・ 地域における認知度が上がり、参加者が増えました。
- ・ 地域の様々な人や団体から金品、食材、お菓子などの寄付を得、ボランティアスタッフをはじめ多くの人に関わるこども食堂の運営ができました。
- ・ 鴻巣保健所の食品衛生監視指導・立ち入り検査に対応し、衛生面での改善を行いました。(5/21)
- ・ 彩の国こども応援ネットワークに参画し、埼玉県主催のこども食堂フォーラムにブース参加しました。(11/26)
- ・ こどもの参加者も増え、食事の後に遊ぶ姿も見られ、地域のこどもの居場所となりました。
- ・ 生活クラブ市民活動寄付制度の利用や個人寄付により、生活クラブの食材を準備することができ、手作りの温かい食事の提供ができました。
- ・ 保育を学ぶ大学生の継続的なボランティア参加や福祉系大学のゼミ単位の参加など、若い世代に参加の場の提供ができました。

(2) 地域生活サポート事業

生活さぽーと事業

事業実績 サービス提供時間 690時間 (95.8%)

事業計画 サービス提供時間 720時間

- ・ 生活クラブ生協学習会「地域包括ケアと医介連携の在り方」に参加しました。(5/23)
- ・ 介護保険が利用できるようになってからも、継続しててとてのサービスを利用される事例などもあり、てとてらしい支援が実践されました。

(3) 地域福祉ネットワーク作り事業

- ① たすけあいを目的とした地域ネットワーク作り事業

- ・生活クラブたすけあいのシステムであるエコロの熊谷ブロックコーディネートを CCS (NPO 法人コミュニティーケアクラブ埼玉) から受託し、組合員同士のたすけあいの仕組みが円滑に進むようにコーディネートしました。
- ・CCS の運営委員を選出し、CCS の運営に参加しました。
- ・エコロ制度改定プロジェクト会議に、コーディネーター代表として参加し、意見をエコロ改定に反映させました。
- ・生活クラブケアシステムの利用はありませんでした。
- ・生活クラブ共済「ハグくみ」のケアのサービス提供を行いました。
- ・生活クラブの相談を担う T ハウスの意見交換会に参加しました。

② 北本生活館管理受託事業

- ・北本生活館の管理業務を生活クラブ生協より受託し、生活館清掃、利用受付、設備管理、備品管理、防災品管理などの管理業務を行いました。
- ・北本生活館の防火管理業務を生活クラブ生協より受託し、防火管理者を選定し、防火管理業務を行いました。
- ・生活館消防避難訓練を生活クラブ北本支部委員会とともに 6 月に、防災点検を 11 月に実施しました。

③ 講師派遣・人材育成事業

- ・生活クラブ熊谷ブロック職員研修において、てとての事業活動報告を行いました。(4/21)
- ・桶川市生活保護受給者就労支援事業等の協力事業所として、ワーカーズコープと連携して就労体験者を受け入れました。(5/30)
- ・吉川福祉専門学校平成 30 年度研修会において、活動報告を行いました。(6/17)
- ・アサポート(生活困窮者自立支援事業)の学習支援プログラムにおける就労体験協力事業所として中学生を受け入れました。(8/18)
- ・生活クラブ北本支部で、エコロで行う託児ケア養成講座の講師を務めました。
- ・立正大学福祉学部土屋ゼミにおいて、てとての地域福祉の取り組みについて報告を行い、その後ゼミ生を「きたもとこども食堂」のボランティアとして受け入れました。

④ 埼玉ワーカーズコレクティブ連合会の活動

- ・福祉部会・食部会・エリア会議に参加し、ワーカーズ運動の促進、ワーカーズコレクティブ間の情報共有・連携に努め、私たち自身がともに成長するための活動や研修に参加しました。
- ・食部会の研修(10/11)、エリア会議ワーカーズ基礎研修(3/2)に参加しました。

- ・ 埼玉ワーカーズコレクティブ連合会主催フォーラムに参加しました。(2/17)
- ・ 「協同労働の協同組合法 法制化直前フォーラム in 北本」に参加し、事例報告を行いました。(1/14)
- ・ ワーカーズコレクティブま・た・ねの見学に対応し、事例報告を行いました。(7/26)

⑤ その他の活動

- ・ 団体設立 10 年目を迎え、「てとて・わ〜くわっく北本 10 周年記念交流会」を開催し、地域の 100 名ほどの参加者と交流し、活動報告を行いました。(6/9)
- ・ 北本生活館協議会に参加し、生活クラブ組合員とともに、地域のまちづくりをともに考えました。
- ・ 北本市市民公益団体展示会に展示参加しました。(9/18~21)
- ・ 北本市中央地域 みんなで考える地域づくり勉強会「支え合いを学ぶ会」に 2 回参加しました。(6/30、8/25)
- ・ ウェブサイト、ブログ、フェイスブック、駅市民活動掲示板、北本市社会福祉協議会広報紙で活動の広報を行いました。
- ・ てとて通信を発行しました。

(4) 福祉有償運送事業

実績 サービス回数 384 回、5,241.0Km (回送距離を含む) 登録利用者 36 名
事業計画 サービス回数 280 回

- ・ 安全を第一に移動サービスの提供を行いました。
- ・ 福祉有償運送の範囲、対価の変更に伴い、福祉有償運営協議会に参加し、変更の手続きの必要な説明を行いました。
- ・ 車両の点検整備を適切に行いました。

(5) 埼玉県障害児(者)生活サポート事業

実績 サービス提供 360 回、 391.5 時間 登録利用者 12 名
事業計画 サービス提供時間 380.0 時間

- ・ 北本市・桶川市に事業・所登録を行い、利用登録者に対して移送・一時預かり・外出援助のサービスを提供しました。
- ・ 必要に応じて利用者の担当ケアマネや相談支援員と連携し、継続的により良いくらしの支援を行いました。

(6) 総合事業 (介護予防・日常生活支援総合事業)

- ・ 取り組みができませんでした。